職務経歴書

2023 年 10 月 13 日現在
氏名：ワーク太郎

■職務経歴概要

株式会社 AAAAAAA にて、自動車エンジンに向け組み込み系ソフトウェア開発に従事し、その後、株式会社 BBBBBBB にてカーナビに向け、ブリッジ SE としてソフトウェアの開発を経験してきました。また、現在はエアバッグ向け、アプリケーションソフトウェアの開発に従事しております。

■得意とする経験・分野・スキル

・アプリケーションソフトウェア開発チームのリードエンジニアとしての経験
・プロジェクトの管理
・OEM 向け、AutoSar のアーキテクチャ経験
・CAN 通信や診断等のアプリケーションソフトウェアの作成
・プロジェクト開発進捗のフォロー
・課題の確認・解決
・お客様のリクエスト確認
・アプリケーションの開発課題の解決

■会社履歴

期間	会社名
20XX 年 XX 月～現在	株式会社 BBBBBBB
20XX 年 XX 月～20XX 年 XX 月	株式会社 AAAAAAA

■職務経歴詳細

株式会社 BBBBBBB　　20XX 年 XX 月～現在

事業内容：ソフトウェア開発

従業員数：●名

資本金：●万円

期間	業務内容	環境	職位
20XX 年 XX 月 ～ 20XX 年 XX 月	【担当業務】 カーナビシステムの HMI 層に向け、車載の各種 ECU と通信し、ナビの表示機能に関わるソフトウェアの開発 【職務詳細】 ・ナビの設定情報： 音量や画面色、表示関連等ナビ自身に関して、情報の表示及び設定処理 ・エアコン： 風量や温度、吹き出し口等の表示及び設定処理 ・車輌運転関連： 運転状況や燃費情報、外部信号等を、図又はチャートで表す処理 ・診断情報： ソフトウェアバージョンや、各 ECU の状況等を表示する処理	OS： Windows 言語： C/C++ ツール： Excel JIRA	職位：チームリーダ (チーム構成： リーダ：1 名 メンバー：2 名 オフショアのチーム：100 名)
20XX 年 XX 月 ～ 現在	【担当業務】 エアバッグのアプリケーションソフトウェア開発に向け、お客様の仕様確認から着手し、システムのアーキテクチャを設計し、ソフトウェアを作成、結合テストまでの一連作業 【職務詳細】 ・CAN 通信モジュール： AutoSar に準する ComStack をプロジェクトに入れ込み、CAN 通信モジュールを作成 AutoSar 対象外の一部機能(OEM の専用機能)を ComStack に新規作成 ・故障診断モジュール： AutoSar に準ずる診断機能に基いて、観客専用の検出方法や、専用ツールの通信方法等に従い、診断モジュールを作成 ・衝突信号の通信モジュール： 衝突時、CAN またはじか線を経由し、他 ECU への通信信号として、ハードウェアチームとマイコンのポート出力を確認し、CAN 通信を利用して信号出力モジュールを作成 ・AutoSar 標準モジュール(OS, Memory 等)に関連する課題の調査	OS： Windows 言語： C ツール： Eclipse MKS Integrity GIT WindChill Excel	職位：チームリーダ (チーム構成： スーパーバイザー：1 名 チームリーダ：2 名 チームメンバー：9 人)

株式会社 AAAAAAA　　20XX 年 XX 月～20XX 年 XX 月

事業内容：人材派遣、人材紹介、業務請負
従業員数：●名
資本金：●万円

期間	業務内容	環境	職位
20XX 年 XX 月 ～ 20XX 年 XX 月	**東京本社　配属** 新人研修		なし
20XX 年 XX 月 ～ 20XX 年 XX 月	**●●へ出向** 【担当業務】 自動車エンジンに向け、組み込みソフトウェアを開発する 【職務詳細】 4 ストロークの制御で、車速や回転数、水温等の各種車輌情報に基づいて、各種機能を対応 ・空気量や、噴射量、バルブの開度等の計算とバルブの開閉、噴射、点火のタイミングの計算を行う処理 ・エンジン状態を監視している自己診断処理 ・コンサルト等の診断ツールとの通信処理 ・ソフトウェアの書き込み用のリプロ処理 サブリーダとして、メンバーの日程計画と作業の進め方等を指導し、チームの進捗管理をサポート 【業務特徴】 ・絶対品質 ・短納期開発(週を単位で、普通は 2～4 週の規模) ・観客のニーズを分け、各案件を担当者に分担し、個人的に独立で対応	OS： Windows 言語：C ツール： Excel, Vivi	職位：サブリーダ (チーム構成： リーダ：1 名 サブリーダ：2 名 メンバー：5 名) リーダの進捗管理 工程管理のサポート

■PC スキル/テクニカルスキル

・A-SPICE 開発プロセスを理解し、グローバル各拠点のチームと調整しながら開発を管理
・ISO-26262 セーフティ基準を理解し、開発と検証と相まって品質を高めるプロセスを把握
・AutoSar アーキテクチャに基づいて、CAN の ComStack 通信や、故障診断等のモジュール構成を理解
・DOORs、MKS Integrity、Git、WindChill 等の開発ツールの使用を身に付ける

■自己 PR

豊富なプログラミング言語能力

・10年間の組込みソフトウェア開発経験（C/C++言語）
・Linux 上、クライアントとサーバの通信モデルの開発経験（C 言語）
・A/D 変換ドライバの開発経験（アセンブラ）
・無線センサネットワークの通信システムの開発経験（Visual C#.net）
・ネットワーク通信負荷計測システムの開発経験（Visual VB.net）

マネジメント力

エンジン制御仕様書の変更内容に従い、作業工数の見積もり及び日程の計画を行い、下位メンバーを指導しながら、進捗管理を行ってきました。また、自動車制御のソフトウェア開発で、品質が一番大事なことと思い、品質を確保するために、開発の各段階で各種類のドキュメントが必要だと感じています。自分自身が若手メンバーの頃は経験が少ないことから、資料不足や対応漏れが多発したため、作業を進めながら各フェーズの設計資料を整理、明確にし、成果物一覧表のチェックリストを改善提案として提出してきました。そうすることにより、対応不足の手戻りを大幅に減らすことが可能となりました。現在は、それらを社内新人教育の一環として運用し、チームの運営に役立てています。

今後は、これまでに培ってきました経験を活かし、新しいステージへキャリアアップしていきたいと考えております。
是非、面接の機会をいただければと思います。何卒よろしくお願い申し上げます

以上